

2020年度 研究奨学金（長期） 募集要項

1. 概要：

この奨学金は、奨学金開始時まで Master、Diplom（例外的に Bachelor）を取得した成績優秀な大学院生が、ドイツの国公立ないしは国から認可された大学や研究機関において、ドイツもしくは日本で博士号を取得するため、あるいはさらに研究・研鑽をつむためのものである。次のような目的がその対象となる。

- 1) 指導教授のもとで、もしくは博士号取得のためのプログラムに参加し、ドイツで博士号取得を目指す。
- 2) ドイツと日本の指導教授の了承を受けた上で、ドイツに研究滞在し、最終的に日本で博士号取得を目指す（Bi-national）。または共同論文指導契約の枠組みで博士号取得を目指す（Cotutelle）。
- 3) 博士号取得に必要な研究プロジェクトのためのドイツ研究滞在。

2. 給付期間：

1) ドイツでの博士号取得を目指す

- 原則として最長 4 年。給付期間は研究内容や計画に基づき、選考委員会による選考会の際に決定される。
- 奨学金は、最初の 1 年についてのみ奨学金が支給され、1 年ごとに選考委員の審査によって、残りの期間の延長が決定される。
- 奨学金受給期間中にドイツ国外への研究滞りが含まれる場合、以下の条件を満たす場合にのみ奨学金が支給される。
 - 博士号取得のために不可欠な滞在であること。
 - 応募書類の研究計画書、タイムスケジュールに記載されていること。
 - 滞在期間が奨学金支給期間の 4 分の 1 を超えないこと。

2) 日本での博士号取得または共同論文指導契約の枠組み（Cotutelle）での博士号取得

- 最長 2 年。給付期間は研究内容や計画に基づき、選考委員会による選考会の際に決定される。
- 奨学金は、最初 12 ヶ月（Bi-national）または 18 ヶ月（Cotutelle）の支給が決定され、その後選考委員の審査によって、残りの期間の延長が決定される。
- 奨学金受給期間中にドイツ国外への研究滞りが含まれる場合、応募書類の研究計画書、タイムスケジュールに記載すること。日本での滞在は奨学金支給期間の対象とはならない。

3) 研究プロジェクトのためのドイツ滞在

7 ヶ月から 12 ヶ月。給付期間は研究内容や計画に基づき、選考委員会による選考会の際に決定される。延長は認められない。

3. 給付内容：

- 1) 月額 850 ユーロ (学部卒業生)
月額 1,200 ユーロ (修士号取得者以上)
- 2) 健康・傷害・個人賠償責任保険料
- 3) 旅費補助 (ただし他の機関から支払われない場合に限る)
- 4) 日本における博士号取得を目指す場合、連邦旅費法(Bundesreisekostengesetz)に基づき、指導教授がそれぞれ以下の目的での最長 10 日を超えない滞在をするための旅費、滞在費。
 - 日本側の指導教授が奨学生の研究の進捗状況を確認するための渡独
 - ドイツ側の指導教授が奨学生の卒業試験に参加するための来日これらの旅程は、応募書類の研究計画書、タイムスケジュールに記載すること。
- 5) 研究補助費、場合によっては家賃補助や家族手当も支給される。
- 6) ドイツ語語学研修 (詳細は奨学金証書にて通知)
 - オンライン語学コース „Deutsch-Uni Online (DUO) “の受講料を奨学金証書受領から 6 ヶ月間 DAAD が負担する。
 - 奨学金開始前に、2~6 ヶ月間のドイツにおける語学研修が義務付けられることがある。語学研修の期間は個別に決定される。語学研修の受講・宿泊費用は DAAD が負担する。
 - 奨学生が任意で選んだ、留学と並行して学ぶドイツ語コースにも DAAD より補助が出る場合がある。
 - 奨学金支給終了まで、日本もしくはドイツでの TestDaF 受験料を 1 度に限り DAAD が負担する。TestDaF の代替として、DSH 受験料とすることも可能。

4. 応募資格：

- 1) 通例、応募の時点で、以下の年限を超えていないこと。
学部卒業生、修士課程 (博士前期課程) 在学学生または修了生の場合、最終の卒業、修了もしくは学位取得時より 6 年。
博士 (後期) 課程在学学生の場合、博士 (後期) 課程進学より 3 年。
- 2) 応募の時点で 15 ヶ月以上ドイツに滞在している者は対象とならない。
- 3) 医学分野 (人間医学、歯学、獣医学) での応募者は別紙「医学応募者のための注意書き」を必ず参照すること。
- 4) 求められる語学能力は応募者の目的と専門分野によって異なる。原則として人文・社会科学・法律専攻は少なくとも十分なドイツ語能力が必要とされる。自然科学・工学関係で、受け入れ研究機関において英語の使用が可能な場合、すぐれた英語能力の証明があればよい。

5. 応募方法：

応募申請は DAAD ポータル (<https://portal.daad.de/>) より行う。DAAD ポータルで応募書類を作成、送信後、応募書類一覧 (Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary) を和文申請書、推薦状と一緒に DAAD 東京事務所へ応募締め切りまでに提出。和文申請書以外の書類はすべてドイツ語または英語で作成すること。

DAAD ポータル上での提出書類 (ドイツ語または英語)

- 1) 申請書：DAAD ポータルに登録し、ダウンロードして作成する。ポータルの操作は <https://www.daad.jp/ja/find-funding/portal-handbook/> を参照のこと。
- 2) 履歴書 (書式自由、3 ページ以内)：空白の時期がないよう詳しく記載する。

- 3) 出版物リスト (ある場合のみ、書式自由、10 ページ以内)
- 4) 研究計画書 (書式自由、10 ページ以内) :
担当教授と話をした上で、研究計画やこれまでの研究内容について詳細に記載する。
- 5) タイムスケジュール (書式自由) :
研究計画をどのようなタイムスケジュールで実現しようと考えているのかを記載する。
- 6) 受入承諾書または入学許可書 (書式自由)
 - ・ドイツで指導教授の下で個人的に博士論文執筆を目指す場合 :
ドイツの大学教授からの受入承諾書。博士号取得までのタイムスケジュールについて、了承する旨の記載を依頼すること。
 - ・博士号取得のためのプログラムでドイツでの博士号取得を目指す場合 :
プログラムへの入学許可書およびプログラムのコーディネーターとのやり取りのコピー。入学許可がまだ出ていない場合は、奨学金支給開始までに提出すること。
 - ・共同論文指導契約の場合 (Cotutelle) :
日本の大学と留学先提携大学間の個別提携契約書。
 - ・その他の場合 :
ドイツの研究滞在先の大学もしくは研究機関からの受入承諾書 (研究計画への了承とワークスペースの確保が明記されていること)
- 7) 大学の全課程 (学部、修士、博士など、在学中の課程も含む) の学業成績証明書
- 8) 大学の全課程 (学部、修士、博士など) の在学、卒業または修了 (見込み) 証明書
- 9) 語学能力証明書 :
 - ・ドイツ語の場合 : Goethe-Zertifikat、Test-DaF、または [DAAD 所定用紙](#) など。
DAAD 所定用紙の場合、大学のドイツ語教師か認可された語学学校の教師に記入をしてもらうこと。
 - ・英語の場合 : TOEFL、IELTS など。
 - ・原則的に過去 2 年以内に取得したものであること。独語・英語両方提出も可。
- 10) その他の書類 (ある場合のみ) : インターンシップや就労証明書など

郵送提出書類

- 1) 和文申請書 1 通 ([所定用紙](#)、DAAD 東京事務所の HP よりダウンロード可)
- 2) 応募書類一覧 (**Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary**) 1 部 :
DAAD のポータルで書類提出後、応募が受理されると、確認の通知と共に応募書類の一覧 (**Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary**) が送られてくる。
これを 1 部印刷したもの。
- 3) 推薦状 1 通 (ドイツ語または英語、所定用紙、書式は DAAD ポータル上で取得) :
開封無効。推薦者に封筒に入れてもらい、そのまま提出する。学力および人物について、応募者をよく知っている大学教員 (専門の教師) 1 名に書いてもらう。(推薦者のサインは手書きであること)
- 4) 郵送書類提出先 :
ドイツ学術交流会 (DAAD) 東京事務所 (郵送、宅配便で送付)
〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化会館 1F
Tel : (03) 3582-5962

応募期限

2019 年 10 月 1 日 (郵送提出書類は消印有効)

注 意：

- ① 特に記述の無い場合、証明書類はすべてコピーで良い。合格者には最終決定後これらの証明書の原本提出を個別に依頼することがある。
- ② 開封無効の成績証明書等も開封してポータルからアップロードする。
- ③ 提出書類は、A4判で統一する。原本がA4判でない場合はA4判の大きさに折りたたみ、コピーはA4判でとること。両面印刷は禁止。
- ④ 提出書類に不備があった場合、応募は無効となる。
- ⑤ DAADのポータルは応募締め切り日の24時（中央ヨーロッパ標準時（MEZ））に閉鎖される。
- ⑥ 締め切り日後の書類提出は一切受け付けない。
- ⑦ 応募書類は返却されない。また、応募者のデータは応募手続きの処理に必要な限り、ドイツ連邦データ保護法とEU一般データ保護規則に則りDAADに保管される。
- ⑧ 書類については、DAAD東京事務所HPの「[よくある質問](#)」のコーナーも参照すること。
- ⑨ 書類の事務所への持ち込みは一切受け付けない。
- ⑩ 本募集要項はドイツ語・英語の原文を基にしたもので、一部内容を省略・補足している。必要があれば原文を参照すること。

6. 選考：

審査は専門家による独立した選考委員会によって行われる。

- 1) 一次選考：書類選考によって行う。結果は11月上旬にDAADから通知される。
- 2) 二次選考：一次選考に合格した者に対して、下記の日程により面接試験（独/英語）を行う。Skype等での面接は不可。日時の詳細については11月上旬に一次選考の結果と共に応募者に通知する。

日時： **2019年12月9日(月)、10日(火)**

場所： ドイツ文化会館 東京都港区赤坂7-5-56

- 3) 最終決定は翌年3月末頃までにDAADポータルを通して通知される。